

音脈

ONMYAKU

公演情報 7-9
2014.

特集 出演者インタビュー&エッセー



インタビュー①
花柳壽輔
舞台芸術創造事業
日本舞踊×オーケストラ Vol. 2



エッセー
Music Weeks in TOKYO 2014
小曾根 真&アルトゥーロ・サンドヴァル
"Jazz meets Classic"
with 東京都交響楽団



インタビュー②
山下牧子・清水理恵
東京文化会館オペラBOX多摩公演
ヘンゼルとグレーテル

特集レポート

プラチナ・シリーズ 8
東京文化会館の教育プログラム 9
東京文化会館主催公演のご案内 13
木之下晃のレンズは語る 16
都響ニュース Vol.32 17
会館からのお知らせ 18

音脈

Vol.55
2014.SUMMER

平成26年5月31日発行(年4回発行)

発行・編集

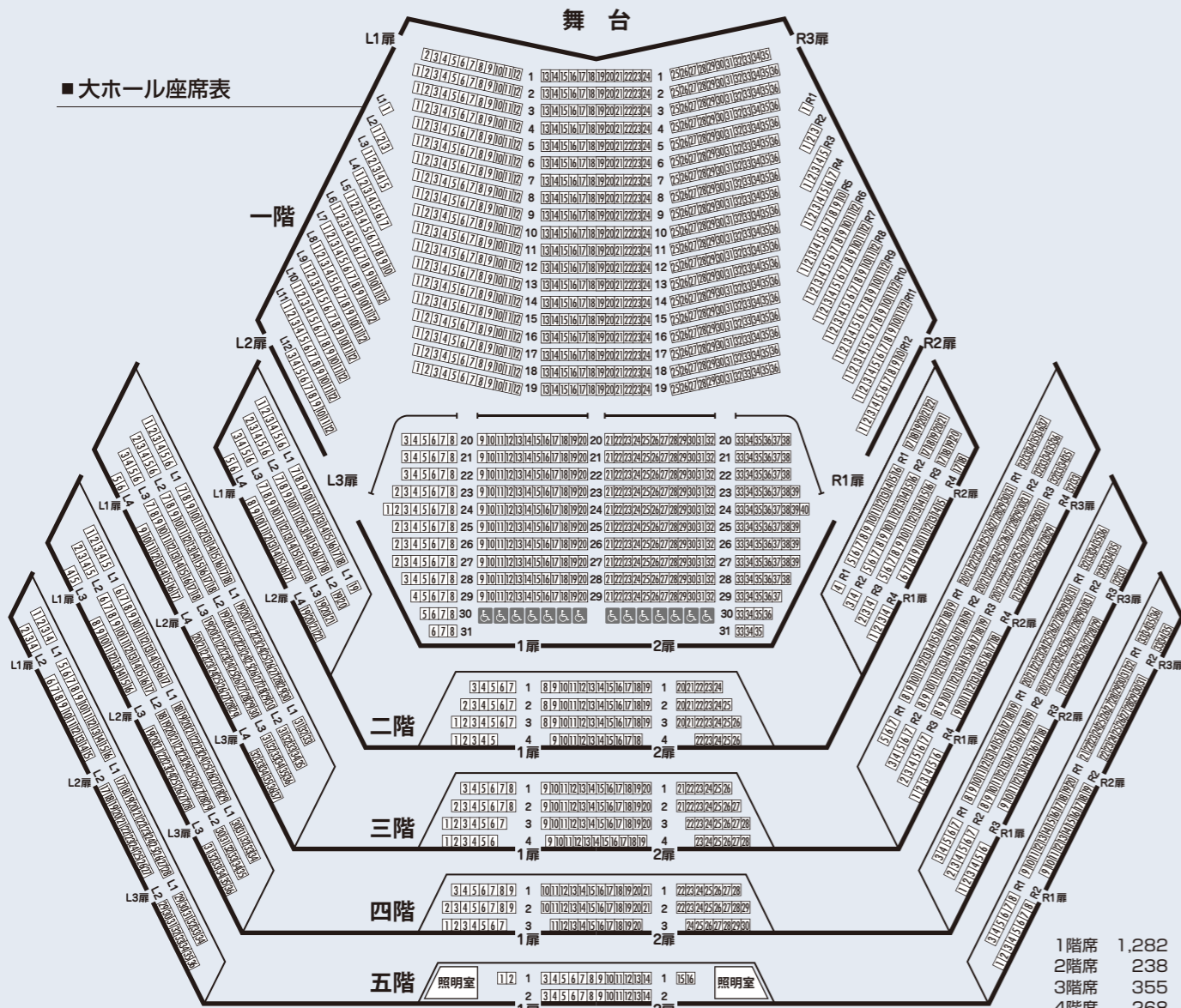
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111(代)
http://www.tbunka.jp/

印刷・製本 JTB印刷株式会社
印刷・製本 前田印刷株式会社



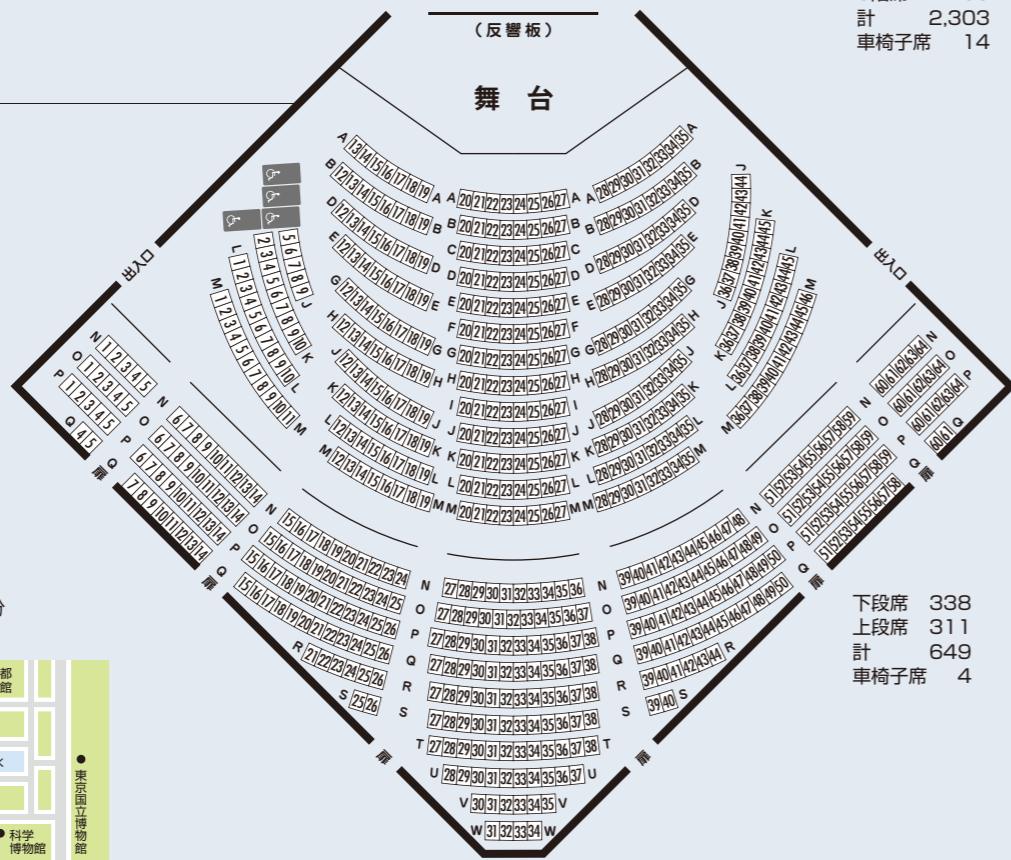
東京文化会館モバイルサイト

■大ホール座席表



1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14

■小ホール座席表



下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4

- JR線 「上野駅」公園口徒歩1分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
- 京成線 「京成上野駅」徒歩7分



*当館には駐車場はございません。また、ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。あらかじめご了承ください。



インタビュー①

舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ Vol. 2

花柳壽輔(構成・演出)

聞き手：山野雄大



2012年12月の公演より ©青柳 聡

鮮やかな驚きと、夢幻の深み……あの代え難い体験が還ってくる。《日本舞踊×オーケストラ》、大反響に込めて今回も、またとない豪華な(そして意外な!)キャストを迎えての公演が決定した。

「始まりも驚くべきものだった。去る2012年12月の初回、花柳流四世宗家家元・花柳壽輔を演出に迎えた《日本舞踊×オーケストラ—伝統の競演—》公演は、バレエの傑作として知られるオーケストラ曲を日本舞踊を中心とした〈和〉の世界に響かせる挑戦が、東京文化会館を埋めた満場の観客に強い印象を与えた。「私自身、1回きりの公演だと思っていたのですよ」と、今回も構成・演出・振付に豊かなアイデアをそそぐ花柳壽輔氏は明るい表情で語る。「初回公演が終わってすぐに、東京都から次の公演へのお話をいただきまして……。準備期間も短くどうしようかと思ったのですが、幸い坂東玉三郎さんに相談したら出て下さるというので、それなら」と

二度目の公演となった『日本舞踊とオーケストラ—新たな伝統へ向けて—』[2013年10月/主催：東京都、日本舞踊とオーケストラ実行委員会/特別協力：東京文化会館]も大好評。「これで終わりと思ったら、東京文化会館からまた今回の公演へのお話をいただきました」と笑顔の壽輔氏。「何度も公演が出来るということは、ご覧になりたいと思って下さるお客様も

多いということでしょうか。考えているうちに、演目が見えてきました。やはり演るからには今回も理想的なスタッフとキャストがほしい。日本舞踊家だけでは出来ませんし、存在感とオーラのある方を迎えて公演のメインとなってほしい、と考えたのです」

日本舞踊界を代表する存在として、傘寿を越えてますます意欲的な花柳壽輔氏は、早くから歌舞伎・宝塚歌劇・演劇・バレエなど広いジャンルでの活躍を続けており、その人脈はもちろん視野も確か広い。今回の《日本舞踊×オーケストラ》でも、日本舞踊界の外から迎えるゲスト主演陣のキャスティングが、また驚きだ。

★世界バレエ界の美しき至宝・吉田都を迎えての《ボレロ》!

バレエへの深い憧憬を抱く壽輔氏が、これまでの公演でもバレエ作品の新たな翻案に取り組んできたこともあって、客席には興味津々のバレエ・ファンも多かった。その愛好家たちも揃って驚くに違いない今回のゲストはまず、英国ロイヤル・バレエ団のプリンシパルとして活躍、フリーランスで踊る今も世界バレエ界に輝く至宝として絶大な人気を誇るダンサー・吉田都だ。

「吉田都さんは以前から踊りを拝見していて、大変に素晴らしい方だなあ……と思っていたのです。世界トップクラスの方ですね。しかし私は都さんが踊るクラシックしか観たことがありませんから、今回の公演のようなことをお演りになるかどうかも分からなかったのです。どうかなあと思いながらお願いしたら、出ていただけることになりました。これは願ってもないこと、ならば《ボレロ》しかない、と思いました」

壽輔氏が振付家ベジャールへの敬愛をこめて創ってきた《ボレロ》、このシリーズで三度目となる上演だ。

「最初の公演では野村萬斎さんと男性群舞による上演も大変に好評をいただきまして、二度目は男性群舞だけで演ってみた。すると玉三郎さんから〈この作品は面白いから、公演の定番としていろんなヴァージョンをお演りになったらいかがでしょうか〉とアイデアをいただいたのです」

その《ボレロ》に、あの吉田都を迎えるという驚き。「実は、三度目となる今回は男女の群舞でも面白いかなと思っていたのですが、吉田都さんに出ていただけることになって、それならば女性は都さんおひとり、男性36人の群舞と共演していただこうと。また、私どもの振付では都さんの良さを引き出すことが難しいですから、都さんのパートはコンテンポラリーの振付家の方をお願い致します。演出プランをよく話し合っ、どのように一緒にさせていただくかじっくり練っていろ

と思います」

★宝塚の輝かしき男役スター・轟悠がお国を! 《いざやかぶかん》

さらに、今回の新機軸として「ぜひジャズで演りたいと思って!」と目を輝かせる壽輔氏。20世紀アメリカを代表する作曲家ガーシュウィンが、ジャズをクラシック音楽へ見事に融合させた傑作オペラ《ボーギーとベス》の音楽で踊るというアイデアが生まれ、オペラから編まれた交響組曲《キャットフィッシュ・ロウ》に振り付けられることになった。新作、題して《いざやかぶかん》とはこのシリーズらしい。

「ガーシュウィンの音楽を聴いているうちに、なぜか歌舞伎の祖であるお国と結びついたんです。同じタイトルで以前にも作品を創ったことがあるのですが、今度はジャズでかぶき踊りを演ってみたい。お国から現在に至る歌舞伎の変遷をみせる……。ならば、主演は宝塚の男役がいいんじゃないだろうか、と。お国だけでなく、いろんな役が変わっていく」

長年、宝塚歌劇団でも振付指導を続けてきた壽輔氏ならではのアイデアだ。そして、ここでも驚きの豪華キャスティングが実現する。

「トップ中のトップである轟悠[雪組トップスターを経て専科で活躍する男役スター]を口説いてみたら、こんなチャンスはまたとない、と言ってくれたんです」

これはまた輝かしい。

「今年は宝塚歌劇百周年を迎えることもあってもの凄いスケジュール、こちらへの出演は無理かとも思われたのですが、本人がどうしても出たいと頑張ってくれて……。轟はとても真面目な子なんです。熱心な上に、何を演らせても品格がある。きっと面白くなると思います。振付は若央りさ[宝塚歌劇団振付家/元月組男役スター]をお願いしました。彼女はダンスも上手いし、花柳流の名取でもありますから日本舞踊も上手いんですよ」

主演が決まったところで、「横尾忠則さんにぜひ美術をお願いしたいと思ったんです」と壽輔氏。「今までお会いしたこともなかったのに、なぜかピンと来て……。初めてお会いして公演企画をお話しているうちに、轟悠の名前を出したら途端に横尾さんが『やる!』と乗り出した。轟悠の大ファンだったんです(笑)」

轟悠の主演に40名の日本舞踊家、そして思い入れ深い横尾忠則の美術を得ての《いざやかぶかん》——宝塚と日本舞踊とジャズが出逢うところに、かぶき踊りのエネルギーが舞い降りる。詳しい(奇抜な!)着想はまだ秘密だが、これまた凄いことになりそうだ。



2012年12月の公演より ©青柳 聡

★ゴージャスでエレガント・麻実れいと壽輔氏の共演! 《パピヨン》

さらに驚きは続く。もうひとりのビッグなゲストは、麻実れい。数々の舞台で強烈な存在感を魅せてきたこのスター女優が、花柳壽輔とのデュオを踊るといふから必見だ。

これまでの公演でも、壽輔氏自身が踊る演目が静かに深い感銘を響かせてきた。《牧神の午後》《プレリウド(沈める寺)》に続いて今回も、ドビュッシーの音楽に振り付けて踊るといふ。「日本舞踊は〈静〉の動きが大切ですから、東洋の影響を受けているドビュッシーは日本舞踊にはぴったり」

新作《パピヨン》のタイトルは、フランス語で〈蝶〉を意味する。「日本舞踊に《保名(やすな)》という演目がございます [亡き恋人を想う男が正気を失い、春の野辺で幻を追う踊り]、小道具として蝶が出てきます。この蝶が男の前に踊る……。バレエで《薔薇の精》という作品がありますね [フォーキン振付/舞踏会帰りの少女の夢の中で薔薇の精が踊る]、あれと通じる着想といいませんか」

このパピヨンを踊るのが、麻実れいというわけだ。「最初から彼女に決めていました。宝塚時代から知っているのですが、ゴージャスでエレガント、普通の女優にはない独特のノブールなものを持っている。エキゾチックな顔立ちといい、日本では得難いタイプなんです」

宝塚歌劇団・雪組トップスターとして人気を博し、退団後も舞台女優としてますます才能を開花させた麻実れい、踊りの舞台は久々の出演となるはずだが「彼女にお願いしたら〈まさか一緒にできるとは、もう夢のよう〉と喜んでくれました」と壽輔氏も嬉しそう。「麻実れいの雰囲気にも良く合うと思いますし、衣裳は森英恵先生が手がけてくださることになりました。これはゴージャスですね……」

★鹿鳴館へ、源氏物語へ……想像力の翼ひろげる意欲的な挑戦!

他にも、壽輔氏の思い入れ深い演目が新たな世界へ生まれ変わる、意欲的な作品が並ぶ。

《ライラックガーデン》は、「古い話ですが戦後、ノラ・ケイ[アメリカのバレエ・ダンサー]が小牧バレエ団の招きで来日して、日劇で公演した時にみた《ライラックガーデン(リラの園)》[テューダー振付]がとても印象的で……。このバレエを日本舞踊に出来ないかと考えて、舞台を明治時代、鹿鳴館の頃に翻案し

てみようと思いました」

愛しいながらやむなく離されてゆく恋人たち……テューダー振付のバレエ版と同じく、ショーソンの名曲《詩曲》で踊られる日本舞踊が、男女の複雑な関係と心情をこまやかに描く。「どのような演出にするかいろいろ練っているところですが、振付は前回の《ペトルーシユカ》でも振り付けてくれて洋楽にも鋭い五條珠實です」

音楽的に言うと、今回の公演で最もハードな選曲となったのは、冒頭に上演される《葵の上(源氏物語より)》[藤蔭静枝振付]だろう。光源氏の正妻でありながら仲も冷めている葵の上、葵祭での車争いをきっかけに六条御息所の生霊に苦しめられ……といった『源氏物語』のエピソードを題材に、能楽などさまざまな作品が生まれてきた。今回はその世界を日本舞踊で描くのだが、音楽は現代作曲家・黛敏郎。壽輔氏も、彼が音楽を担当したベジャール振付《ザ・カブキ》で共に仕事をした人だ。

「バランシンも振り付けた《BUGAKU(舞楽)》の第2部と、《呪》という作品を使います。そもそも日本舞踊ではバツハやハイドンといった古い時代の音楽ではやりにくいのです。ベートーヴェンやマーラーも難しい。音楽的にも題材としてもバレエ・リュス(ロシア・バレエ団)以降の作品に惹かれますし、この《葵の上》も、演奏も振り付けるのもとても難しいですが黛さんの曲でと」

演奏は、ヨーロッパ各地のオペラでも活躍する新進気鋭の園田隆一郎が指揮する東京フィルハーモニー交響楽団。舞台と呼吸を合わせるピット演奏に長けた音楽家たちが、壽輔氏をはじめ舞踊陣の果敢な挑戦をしっかりと支える。

演目を見渡してみると、意図してかはからずもか、さまざまな女性の情念——その美しく焔たつ魅力をめぐるような演目が並ぶようにも思えて、どのような舞台になるのかいずれも楽しみだ。

舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ Vol.2

12月13日(土) 18:30開演(17:45開場)、12月14日(日) 15:00開演(14:15開場) 大ホール

葵の上(源氏物語より)

音楽：黛 敏郎「BUGAKU(舞楽)」より第2部、「呪」
振付：藤蔭静枝
出演：市川ぼたん、花柳寿楽、藤間恵都子、花柳大日翠、坂東三信之輔 他
群舞約20名

構成・演出▶花柳壽輔
監修▶植田紳爾
指揮▶園田隆一郎
管弦楽▶東京フィルハーモニー交響楽団

美術▶堀尾幸男
照明▶沢田祐二
舞台監督▶菅原多敢弘

ライラックガーデン

音楽：ショーソン「詩曲」
振付：五條珠實
出演：藤間蘭黄、水木佑歌、花柳源九郎、尾上 紫 他

いざやかぶかん

音楽：ガーシュウィン「ボーギーとベス」組曲より「キャットフィッシュ・ロウ」
振付：若央りさ
振付補：花柳達真
美術：横尾忠則
出演：轟 悠 他 総勢41名

パピヨン

音楽：ドビュッシー「夜想曲」
振付：花柳壽輔
衣裳：森 英恵
出演：花柳壽輔、麻実れい

ボレロ

音楽：ラヴェル「ボレロ」
空間構成・振付：アレッシオ・シルヴェストリン
振付：花柳輔太郎
出演：吉田 都、日本舞踊家男性群舞36名



花柳壽輔 園田隆一郎



吉田 都 ©政川慎治 麻実れい 轟 悠 ©宝塚歌劇団

料金 S席12,300円 A席10,300円 B席8,200円 C席5,200円 D席3,200円 (6月14日(土)発売、友の会先行：6月7日(土)) ※各種割引あり
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
企画協力 公益社団法人日本舞踊協会
協力 宝塚歌劇団、スタジオ アーキタンツ、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒

チケット取扱 TS 国劇 宝塚歌劇団 e+ ロケテ

Music Weeks in TOKYO 2014 メイン公演 小曾根 真&アルトゥーロ・サンドヴァル “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

音楽に国境はない、そしてジャンルの壁もない。その言葉を改めて噛みしめるような、しかも楽しいコンサートだった。

「Music weeks in TOKYO」のメイン公演「Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団」のことだ。昨年は小曾根真のピアノ、ラテン・ジャズ界の巨匠パキート・デリベラがジョシュア・タン指揮の東京都交響楽団と共演し、満員の東京文化会館大ホールを沸かせた。モーツァルトのクラリネット協奏曲では、クラリネットだけでなくピアノも独奏楽器として登場した。特に第2楽章では、クラリネットのソロとピアノがモーツァルトの世界から飛び立ち、新しい世界をそこに作り出してくれた。パキートの滑らかなクラリネットの音、そして小曾根の煌めくようなピアノの音が、時には溶け合い、時にはぶつかり合い、一期一会の音楽を奏でていた。そして、ジャズの世界でたくさんの経験を積んできたふたりのプレイヤーと、クラシック音楽の中心に位置するオーケストラにも、音楽的な交流が感じられた。

小曾根はモーツァルトの後に、ラフマニノフの大作「パガニーニの主題による狂詩曲」を演奏。そして後半にはデリベラと小曾根のデュオのセッションが、再び熱風のように会場を駆け抜けた。デリベラのオープンな人柄、素晴らしいテクニックと音楽性、小曾根のセンス溢れるソロは多くの聴衆の心に刻まれたに違いない。小曾根は平成25年度の「芸術選奨 大衆芸能部門 文部科学大臣賞」を受賞したが、その主な受賞理由のひとつとしてこのコンサートが挙げられていた。

その「Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団」が2014年も開催される。今年のゲストはジャズ・トランペット奏者のアルトゥーロ・サンドヴァルである。サンドヴァルはパキート・デリベラと同じくキューバ出身。そして伝説的なラテン・ジャズのグループであるイラケレの創設メンバーとしても活躍し、デリベラの盟友とも言える存在である。1990年からアメリカを拠点に活躍しており、アルバムも数多くリリース、グラミー賞を10回も受賞している。ラテン、ジャズ、クラシックとジャンルを問わず活躍しており、そのハイノートの素晴らしさは特筆さ

れてきた。またフリーゲルホルンの滑らかな音色も彼の演奏の魅力のひとつと言われている。

今年の演奏曲目はショスタコーヴィチの「ピアノ協奏曲第1番」。これはピアノとトランペットと弦楽合奏による協奏曲で、ロシアの作曲家ショスタコーヴィチの若い時代の傑作のひとつだ。もちろん通常の演奏会では楽譜通りに演奏する訳だが、この「Jazz meets Classic”ではおそらく独自の編曲による個性的な演奏になる。コンサートはまずバーンスタインの「キャンディード」序曲に始まり、ショスタコーヴィチへ、そしてラヴェルの「ボレロ」と続く。この「ボレロ」は小曾根スペシャルと題されていて、これまでの「ボレロ」とはひと味違う小曾根バージョンが聴けるはずだ。そして後半は、小曾根とサンドヴァルによるジャズ・セッションが幕を開ける。昨年以上に盛りだくさんなプログラムである。

小曾根真は今年2月にはアラン・ギルバート指揮ニューヨーク・フィルハーモニックのアジア・ツアーに参加し、韓国と日本でガーシュウインの「ラブソディ・イン・ブルー」を共演した。また4月22日にはニューヨーク・フィルハーモニックの本拠地であるエイヴリー・フィッシャー・ホールでもこの曲を演奏した。ジャズの世界ではすでに国際的な存在であったが、クラシックの世界でも「OZONE」の名前は国際的なものになっている。

その小曾根の考えている音楽的なアイデアを、いち早くキャッチ出来るコンサートがこの「Jazz meets Classic”でもある。ジャズとクラシックの世界の垣根をこえて、アーティストが語り合い、共演し、音楽の新しい可能性を開いて行く。しかも演奏そのものが楽しい。そんなコンサートにはなかなか出会わない。このレアな機会を逃さないように、スケジュール帳にチェックを入れておこう。

(片桐卓也)



2013年公演より ©青柳 聡

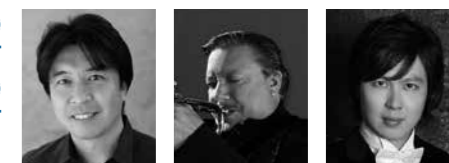
10月24日(金) 19:00開演(18:20開場) 東京芸術劇場コンサートホール

10月25日(土) 19:00開演(18:20開場) オリナスホール八王子

出演▶ピアノ：小曾根 真 スペシャル・ゲスト：アルトゥーロ・サンドヴァル(トランペット)

指揮：ジョシュア・タン* 管弦楽：東京都交響楽団* *第1部のみ出演

曲目▶《第1部》バーンスタイン：「キャンディード」序曲
ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番 ハ短調 op.35
(ピアノとトランペット、弦楽合奏のための協奏曲)
ラヴェル：ボレロ(小曾根スペシャル)
《第2部》ジャズ・セッション 小曾根 真×アルトゥーロ・サンドヴァル



小曾根 真 ©Kiyotaka Saito アルトゥーロ・サンドヴァル ジョシュア・タン

料金 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 学生席1,000円(6月7日(土)発売)
主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
チケット取扱 TS 国劇 宝塚歌劇団 八王子 (10/25のみ) 国劇 e+ ロケテ

Music Weeks in TOKYO 2014 メイン公演特別企画 小曾根 真ワークショップ

12月9日(火) よみうり大手町ホール

出演▶小曾根 真

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

インタビュー②

東京文化会館オペラBOX多摩公演 ヘンゼルとグレーテル 山下牧子(ヘンゼル)、清水理恵(グレーテル)



すけど大丈夫ですか、と伺ったら、中身でそれは埋めてくださいという言葉を受けて、ありがたいチャンスだと思いました。

——山下さんはオペラに多数出演されています。舞台を中心に生活していくのはどうですか。

山下 舞台に関わっている時間とプライベートな時間、いいバランスで動いていけるのは、とても幸せですね。経験を重ねて見えてきたのは、私が目指す歌手像は「練習から本番までに引き算ができる人」です。リハーサルでは徹底的にやって、ふるいにかけて残ったものをステージに持って行く方をたくさん見てきました。これはステージに対する敬意のような気がして、自分もそのようになりたいなど。

——清水さんは今年の1月に藤原歌劇団の「オリイ伯爵」で当館大ホールの舞台に立たれましたね。

清水 リハーサルで舞台袖に立って舞台を見た瞬間に、このオペラの舞台に立つというすごさを実感して、一気にガクガクと震えが来たんですけど、そこからは本当に楽しませて頂きました。

——今回の出演者、7人中6人が東京音楽コンクールの入賞者です。山下さんは記念すべき第1回(2003年)に優勝されました。

山下 この優勝は素晴らしい経験となりました。自分のプロフィールもこれだけは書いています。

——優勝した後は色々変わりましたか。

山下 第1回は三善先生(元東京文化会館館長)、畑中良輔先生、長野羊奈子先生など、3~4人の先生が第1次予選からずっと審査されていました。三善先生が、授賞式のときに「賞金は他のコンクールの半分です。しかし、この入賞を機に、皆さんの経験が広がり成長していくことが、我々は嬉しいのです。だから私たちは、あなたたちと一緒に、このコンクールと共に育ってきたいんです。どうぞよろしくお願いします」と話されました。これを聞いて、このコンクールで入賞したという喜びより、芸術家として襟を正す思いでした。1回目で1位を取らせてもらいましたが、三善先生をはじめ、大芸術家である大先輩方に1位に選んでいただいたことを自負とし、どんな公演でも全力で挑戦できるようになったと思います。

——清水さんは5年前の第7回で優勝されました。

清水 私もこのコンクールで歌の人生が変わりました。コンクール後、本当に多くの経験をさせて頂きました。オーケストラ

——これまでにヘンゼル、グレーテル、それぞれの役で出演されたことはありますか？

山下 初めてです。魔女じゃないんですかって、(演出の)三浦さんに言ったんです(笑)。もう魔女の域かなと思っていたら、ヘンゼルということで。

清水 私もソリストとして出演するのは初めてです。大学生の時に合唱で出演しました。先輩たちの姿を見て、すごくいいオペラだな、やってみようとは思っていたんですけど。

——昨年の初演の映像をご覧頂きましたが、いかがでしたか？

山下 子供たちが参加している感じや、会場(東京文化会館小ホール)の雰囲気がいいなと思いました。今回は(たましんRISURUホール)大ホール。言葉とかテクニックとしても、ちょっとグランデな仕様にしないと、何やっているんだみたいな感じになる。

清水 照明が素晴らしくて、森の中にいるような感じでした。それと、客席を巻き込んだ演出が素晴らしかったです。

山下 今回、自分が経験してきたことと、自分が素敵だなと思うことと、自分が磨いた声の表現で、「少年」ということにあまり意識を置かずやりたいです。私のこれまで重ねさせてもらった経験から何か貢献できたらいいなと強く思いますね。

清水 グレーテルはなんて素敵なお役なんだろうとずっと思っていました。音楽も素晴らしい。しかし、私の身長でこの役をやることは絶対ないだろうと本当に思っていたんですけどね。

山下 でこぼこ兄妹。

清水 だから、この役のお話を頂いたときに、身長166センチで

との共演、トーク付きでやる1時間のモーニングコンサート、オペラBOX、アウトリーチ・コンサートなど。そこで知ったのは、音楽によって幸せになる人は少なからずいるんだということです。お客さまを喜ばせる力が音楽にあるのだとしたら、技術はもちろん、構成など、楽しんでもらうために、いろんなところで力を尽くさないといけないと学びました。

——東京文化会館のホームページにアーカイブがあります。山下さんは2000年1月8日、オペレッタ『こうもり』のオルロフスキーを小ホールで演じられたのがソリストとして初めてですね。

山下 オペラサロントナカイの公演でした。初めて舞台に立ったのは、藝大『メサイア』の合唱の時ですね。

——清水さんは2002年に、東京音楽コンクールの前身、「新進音楽家デビューコンサート」に出ていますね。

清水 そうなんです。「新進音楽家デビューオーディション」最後の年に受けて合格しました。オーディションは小ホールで、大ホールで「デビューコンサート」に出演しました。大小ホールとも、これが初めての経験です。

——その後清水さんは、2003年2月に「東京文化会館舞台芸術創造事業フェスティバル」で、神田慶一さんの新作オペラ『僕は夢を見た、こんな満開の桜の樹の下で』に出演されました。

清水 お仕事という形で出させて頂いたのは、それが初めてでした。このオペラでは(今回魔女役で出演する)所谷さん、(ゲルトロード役の)駒井さんも一緒でした。

山下 それは楽しい。

東京文化会館オペラBOX多摩公演 フンパーディング作曲『ヘンゼルとグレーテル』(全3幕/日本語上演)

8月31日(日) 15:00開演(14:30開場) たましんRISURUホール(立川市市民会館)大ホール

演出・訳詞 ▶ 三浦安浩
音楽統括・指揮 ▶ 杉原直基
出演 ▶ ヘンゼル: 山下牧子 *第1回東京音楽コンクール声楽部門第1位
グレーテル: 清水理恵 *第7回声楽部門第1位及び聴衆賞
魔女: 所谷直生
ペーター: 高橋洋介 *第9回声楽部門第2位及び聴衆賞
ゲルトロード: 駒井ゆり子 *第1回声楽部門第2位
眠りの精: 文屋小百合 *第3回声楽部門第1位
露の精: 鷺尾麻衣 *第7回声楽部門第2位
ナビゲーター: 朝岡 聡
児童合唱: ジンジャーブレッド合唱団
(ワークショップ「オペラをつくろう!」参加者)
演奏 ▶ エレクトーン: 塚瀬万起子、柿崎俊也
打楽器: 田村拓也
スタッフ ▶ 美術: 鈴木俊朗
衣裳: 坂井田 操
照明: 稲葉直人
舞台監督: 田中義浩
児童合唱指導: 倉岡典子
演出助手: 伊奈山明子
美術助手: 佐藤みどり



料金 指定3,000円
東京文化会館友の会会員・ムーサ友の会会員・シルバー(65歳以上)・学生・ハンディキャップ2,500円
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) 公益財団法人立川市地域文化振興財団
助成 一般財団法人地域創造 東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒

チケット取扱 TS 印刷 全席 電子

レポート Music Weeks in TOKYO 2014 プラチナ・シリーズ

東京文化会館の小ホールの客席に座ると、音楽的な時間が流れ始める。これまでの名演の記憶、そしてこれから聴く音楽への期待。その小ホールの素晴らしい音響を活かして、世界各地で活躍を続ける達人たちを招く。それが「Music Weeks in TOKYO 2014」の「プラチナ・シリーズ」だ。2014年も豪華な演奏家が集まり、ここでしか聞けない贅沢なプログラミングを披露してくれる。ジャズ、バッハとコンテンポラリー、無伴奏チェロ、そしてデュオのコンサートもふたつ。そのジャンルの多彩さもプラチナ・シリーズの魅力である。今年は12月のクリスマスからシリーズが始まる。

12月25日の第1回にはジャズ・ピアノの鬼才、山下洋輔が登場する。1960年代に世界を揺るがしたフリー・ジャズ。山下はその先頭に立ち続けていた。山下洋輔トリオとして活動し、数多くのアルバムも発表してきた。また近年ではクラシックのスタイルを元にした作品（ピアノ協奏曲など）も発表している。先鋭な音楽、そしてアグレッシブな演奏。山下の先取り精神は、多くの音楽家に影響を与えて来た。今回はクリスマス当日のソロ・コンサート。曲目は当日発表なので、どんな音楽が飛び出してくるかは分からないが、予定調和のない、つまり聴衆の予想もつかないようなところから、音楽を作り出して来るだろう。そのサプライズ感も、コンサートを楽しむ要素のひとつなのである。

第2回は2015年の1月21日。オーボエのシェレンベルガーとヴァイオリンの堀米ゆず子という世界的なソリストを中心にしたアンサンブルにより、「バッハ・コントラスト」というタイトルのコンサートが行われる。シェレンベルガーはベルリン・フィルの首席オーボエ奏者として、カラヤン時代から活躍してきた。現在では指揮者としても活動を行っている。堀米は日本を代表するヴァイオリニスト。エリーザベト国際音楽コンクール（ベルギー）優勝後、長くブリュッセル在住で、世界各地で演奏会を行っている。チェンバロにはやはり日本を代表するチェンバロ奏者・中野振一郎が加わる。バッハのトリオ・ソナタの間に、現代の作曲家であるハインツ・ホリガーと三善見の作品をはさみ、バロック時代と現代のコントラストを感じさせるという内容。名手たちの共演が、まさに時代を超えた音楽の対比を浮かび上がらせるだろう。

第3回は2月1日。世界的なチェリスト、ミッシェル・マイスキーの無伴奏リサイタルが行われる。世界中のコンサートホール、音楽祭から引っ張りだこのマイスキー。彼がこの小ホールの空

間で、無伴奏でコンサートを行うのはまさに奇跡的な出来事である。これまで大きなコンサートホールで彼の無伴奏チェロの演奏を聞いたことはあるが、朗々としたそのチェロの響きは、静まり返ったコンサートホールを満たすように広がって行った。そのマイスキーは、小さな空間の中でどんな演奏を展開するのだろうか？もともと繊細なニュアンスを持つ彼の演奏は、こうした親密な空間でこそ生きるものだと思っていた。多くのチェロ音楽ファンにとっては待望のコンサートとなるだろう。

第4回は2月27日で、仲道郁代と川久保賜紀によるデュオ・リサイタル。ベートーヴェンとブラームス。それぞれの代表的なピアノ曲、ヴァイオリン・ソナタを組み合わせたプログラムである。仲道はベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズを行い、録音も残してきた。考え抜かれた演奏で、ベートーヴェンの魅力をいつも新たに気付かせてくれる。今回、ベートーヴェンはヴァイオリン・ソナタ第5番「春」と、ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」が演奏される。ブラームスはヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」と、ピアノ小品集（作品117、118-2）が演奏される予定だ。ヴァイオリンの川久保は2002年のチャイコフスキー国際コンクール最高位入賞など、世界の第一線で活躍してきた。豊かで多彩な音色が魅力で、いま充実の時を迎えている。このふたりのデュオも、小ホールの空間で聞くと、よりいっそう味わいの濃いものとなるだろう。

第5回は3月6日。シリーズの最後を飾るのは、リートデュオとして長く活躍してきた白井光子とハルトムート・ヘルによるコンサートである。弦楽四重奏も4人の弦楽器奏者が長くリハーサルを重ねて熟成してくるよう、リートの世界も声楽家とピアニストが、その人生をかけて、何度もリハーサル、演奏を繰り返す、その積みかさねによって、初めてその演奏家の個性が浮かび上がってくる世界である。だから、長くデュオ活動をする声楽家とピアニストが多いのだが、白井&ヘルは1973年からデュオを組んでいるというから、すでに40年以上となる訳だ。丁寧に作り上げられた解釈によって言葉と音楽が結びつく時に、その作品の真価が現れると思う。白井&ヘルのデュオは、作品の真の姿を教えてくれる。声楽ファンだけでなく、多くの音楽ファンに聞いて欲しいコンサートだ。

(片桐 卓也)

小ホール

Music Weeks in TOKYO 2014 プラチナ・シリーズ

第1回 山下洋輔
～クリスマス・ジャズ・ナイト～

12月25日(木) 19:00開演(18:30開場)

出演▶ピアノ：山下洋輔
曲目▶当日発表



山下洋輔
©Akihiko Sonoda

第2回 シェレンベルガー&堀米ゆず子&中野振一郎
～バッハ・コントラスト～

平成27年1月21日(水) 19:00開演(18:30開場)

出演▶オーボエ：ハンスイェルク・シェレンベルガー
ヴァイオリン：堀米ゆず子
チェンバロ：中野振一郎 他
曲目▶J.S.バッハ：トリオ・ソナタ長調 BWV1039
H.ホリガー：独奏オーボエのためのソナタ
J.S.バッハ：トリオ・ソナタ ニ短調 BWV1036
J.S.バッハ：トリオ・ソナタ ハ長調 BWV1037
三善見：ヴァイオリンのための「鏡」
J.S.バッハ：『音楽の捧げもの』BWV1079より
トリオ・ソナタ



ハンスイェルク・
シェレンベルガー
©Gerhard Winkler



堀米ゆず子
©T.Okura

第3回 ミッシェル・マイスキー
～巨匠マイスキーの無伴奏～

平成27年2月1日(日) 15:00開演(14:30開場)

出演▶チェロ：ミッシェル・マイスキー
曲目▶J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 BWV1007
第4番 変ホ長調 BWV1010
第5番 ハ短調 BWV1011



ミッシェル・マイスキー
©Hideki Shiozawa

第4回 仲道郁代&川久保賜紀
～ベートーヴェンとブラームスの真髄へ～

平成27年2月27日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶ピアノ：仲道郁代 ヴァイオリン：川久保賜紀
曲目▶ベートーヴェン：
ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調「春」 op.24
ピアノ・ソナタ第21番 ハ長調「ワルトシュタイン」 op.53
ブラームス：
3つの間奏曲 op.117
『6つの小品』より第2番 間奏曲 イ長調 op.118-2
ヴァイオリン・ソナタ第1番ト長調「雨の歌」 op.78



仲道郁代
©Kiyotaka Saito



川久保賜紀
©Yuji Hori

第5回 白井光子&ハルトムート・ヘル～世界最高峰のリートデュオ～

平成27年3月6日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶メゾソプラノ：白井光子
ピアノ：ハルトムート・ヘル
曲目▶リスト、ブラームス、R.シュトラウスの
作品 他



白井光子
©堀田正矩



ハルトムート・ヘル
©堀田正矩

料金	セット券(全5回) S席24,300円、A席19,800円 (セット券販売期間：7月5日(土)～7月19日(土))
	1回券 第1・2・4・5回 S席5,000円、A席4,000円、B席2,500円 第3回 S席7,000円、A席6,000円、B席4,000円 (7月26日(土)発売)
主催	東京都／東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
	チケット取扱 TS 観劇 観劇 観劇 観劇 (セット券はTSのみ)

レポート 東京文化会館の教育プログラム

音楽がもたらす大きな可能性 ～ミュージック・エデュケーション・プログラム～

未来を担う子供達に、音楽の喜びを知ってもらいたい—東京文化会館は、音楽を通して子供達の無限の可能性が開かれることを願い、多彩な教育プログラムを展開しています。ここでは、

東京文化会館ならではの、特徴的なエデュケーション・プログラムとして実施している二つの企画について、ご紹介いたします。

東京文化発信プロジェクト 青少年のための舞台芸術体験プログラム

東京文化会館の小ホールを会場に、オリジナルのオペラ公演として毎回好評の「オペラBOX」。2012年から、オペラ公演の制作とともに体験できるワークショップ「オペラをつくろう！」を併せて開催しています。昨年の「オペラBOX カルメン」では、児童合唱として実際に舞台にたち、また工作ワークショップで舞台美術となる作品を創るなど、多くの子供達が舞台制作の現場を体験しました。

今年は『東京文化会館オペラBOX 多摩公演 ヘンゼルとグレーテル』と連動し、公演に出演する児童合唱団ワークショップ「オペラの声になる！」、本番で使用する小道具などを作る舞台美術ワークショップ「お菓子な家づくり!」を立川市で開催します。

また、通常のコンサートではなかなか入場できる機会の少ない未就学児童の皆さんに、本物の音を楽しんでいただく「はじめてのたのしいコンサート」も開催します。お子様と一緒に、小ホールの素晴らしい響きで、生の演奏をお楽しみください。



2012年「オペラBOX」公演より
©青柳聡



2012年 工作ワークショップより



2012年 児童合唱ワークショップより

オペラをつくろう!

ワークショップ①

オペラの“声”になる!《児童合唱》

7月22日(火)~8月31日(日) 計20回程度

会場▶たましんRISURUホール(立川市市民会館)、
立川市子ども未来センター
募集人数▶30~40人程度(応募多数の場合は抽選)
対象▶小学1年生~高校3年生
募集期間▶5月1日(木)~5月30日(金)【受付終了】
参加費▶2,000円
講師▶合唱指導:倉岡典子
音楽統括・指揮:杉原直基
演出:三浦安浩
演出助手:伊奈山明子 他

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)/
公益財団法人立川市地域文化振興財団

ワークショップ②

お菓子な家づくり!?《工作》

8月2日(土)、8月3日(日) 10:30~12:30/14:30~16:30

8月31日(日) 15:00~(公演鑑賞)

※各回完結のワークショップです。公演鑑賞のみの参加はできません。
※保護者の方の鑑賞には、チケット購入が必要です。(割引あり)
会場▶たましんRISURUホール(立川市市民会館)
内容▶舞台美術製作(舞台に登場するお菓子づくり)
募集人数▶各回20人程度(応募多数の場合は抽選)
対象▶小学1年生~中学3年生
募集期間▶6月2日(月)~6月27日(金)消印有効
応募方法▶東京文化会館ホームページで申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、郵送でお申し込みください。

参加費▶500円 ワークショップ当日にお支払いください。

講師▶美術:鈴木俊朗
美術助手:佐藤みどり
衣裳:坂井田 操
演出:三浦安浩 他

はじめての楽しいコンサート

未就学児とその家族を対象に、生の演奏を体験する機会を提供します。

平成27年1月31日(土) 14:00開演

出演▶ピアノ:白石光隆
ヴァイオリン:瀧村依里 *第3回東京音楽コンクール弦楽部門第1位
料金▶入場無料【事前申込制・詳細は10月以降(予定)に発表します】

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



これまでの「はじめての楽しいコンサート」より

国際連携企画 カーザ・ダ・ムジカ

昨年度、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ(Casa da Música)」と連携し、これまでにないエデュケーション・プログラムとして大きな注目を集めた「国際連携企画 カーザ・ダ・ムジカ」。単にワークショップを開催するだけではなく、ワークショップを企画し、実施するワークショップ・リーダーを育成し、新たなワークショップ・プログラムの制作も同時に行うこの企画は、これまでのミュージック・エデュケーション・プログラムを大きく発展させる可能性を持つものとして今後の展開が期待されています。

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共催 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)
協力 上野学園大学、日本フィルハーモニー交響楽団 後援 台東区教育委員会、ポルトガル大使館

カーザ・ダ・ムジカとは

ポルトガル北部の港湾都市ポルト(Porto)は、リスボンに次ぐポルトガル第二の都市です。世界遺産にも登録されている美しい港町で、この歴史ある港から輸出された特産品のワインは「ポートワイン(ポルトワイン)」として世界的に有名です。

「カーザ・ダ・ムジカ」、日本語で「音楽の家」を意味するこの施設は、2001年にポルトが欧州文化首都に指定されたことを記念し、音楽による創造を目的とした国内初の音楽専門施設として2005年に開館しました。



カーザ・ダ・ムジカの外観。世界的に著名な建築家、レム・コールハースとエレン・ヴァン・ルーン的设计による建物は、個性的な建築作品としても高く評価されている。

カーザ・ダ・ムジカは多様な芸術・文化が融合したフェスティバルやコンサートを開催するとともに、ポルトガルで初めて本格的に教育普及事業に取り組みました。「音楽は芸術であると同時に人々の心の豊かさを育むもの」という信念のもと、あらゆる人々に豊かな音楽体験をしてもらうことを教育プログラムの使命として掲げ、地域に根差した活動や市民が積極的に携

わるプロジェクトを展開しています。未就学児向け、小学生向けのワークショップやコンサートも数多く開催され、多くの子供達やその家族が参加しています。

また、音楽の持つ医療的効果に着目し、認知症患者のためのワークショップや、医療施設へアーティストを派遣するアウトリーチ活動など、社会的な活動にも積極的に取り組んでいます。



児童向けワークショップ



未就学児を対象としたコンサート



認知症患者のためのワークショップ ©João Messias

東京文化会館での取り組み

東京文化会館では、このような多彩な活動を行っているカーザ・ダ・ムジカと初めて連携し、2013年に「国際連携企画カーザ・ダ・ムジカ」として独自のミュージック・エデュケーション・プログラムを立ち上げました。これに伴い、カーザ・ダ・ムジカから、ジョルジュ・ブレンダス氏(エデュケーション・プログラム・コーディネーター)、パウロ・ネート氏(ワークショップ・リーダー)、ジョルジュ・ケイジョ氏(同)を招聘し、様々なプログラムを実施しました。

まず、12月にはブレンダス氏による公開講座「音楽が社会に果たす役割とは?」を開催。音楽を活用した教育普及プログラムの重要性を説き、ネート氏、ケイジョ氏も参加してカーザ・ダ・ムジカにおいて実践されているプログラムのデモンストレーションも行われ、彼らの活動が具体的に紹介されました。

この国際連携企画では新たにワークショップ・リーダーを育成し、東京文化会館のオリジナルワークショッププログラムを制作し、実際にワークショップを開催する、ということも目的としていました。ワークショップ・リーダーの育成講座には、公募により選出された20名が受講生として参加し、実践的な研修を経て、「音楽列車でいこう!」「とびだせ!おんがくたんけん隊」という二つのオリジナルワークショッププログラムを制作し、カーザ・ダ・ムジカのオリジナルワークショッププロ



平成25年度ワークショップ育成プログラム講師・受講生

ラムとともに、2月に上演しました。今回の企画では、当館小ホールの他、文京シビックセンターや台東区内の幼稚園など、他施設と連携して実施したことも注目すべき点でした。

さらに、受講生の中から、特に優秀と認められた3名を選抜し、カーザ・ダ・ムジカ現地での1週間の派遣研修を実施、さらに実践的に学ぶ機会を提供しました。

この企画は、2014年も同様に開催を予定しています。音楽による教育普及プログラムに関心のある皆様の、積極的な参加をお待ちしております。

東京文化会館で開催した子どもから大人まで楽しめるワークショップより



「ココログの大冒険」
(カーザ・ダ・ムジカ オリジナル・ワークショップ)
対象: 生後6か月~18か月
(2014.2.9.東京文化会館 小ホール) ©青柳 聡



「音楽列車でいこう!」
(東京文化会館オリジナル・ワークショップ: 初演)
対象: 4歳~6歳(未就学児)
(2014.2.9.東京文化会館 リハーサル室B) ©青柳 聡



「音楽冒険旅行」
(東京文化会館オリジナル・ワークショップ: 初演)
対象: 3歳~大人
(2014.2.9.東京文化会館 小ホール) ©青柳 聡

派遣された3名のワークショップ・リーダーからのメッセージ
“カーザ・ダ・ムジカの魅力、派遣研修で学んだこと、音楽の力とは”

◇「カーザが教えてくれたこと」 高瀬美欧さん

カーザの魅力は、細部まで考えられデザインされた建物はもちろんですが、そこにいる人々がいかに素晴らしいかということだと、現地に行き実感しました。研修では様々なワークショップのアイデア、音楽、話し方や接し方に触れることができ、とても勉強になりました。また、リーダーはそれらだけでなく、人間として魅力的であることが大切だということも学びました。今回は私たちのワークショップをポルトガルの子供たちに向けて行う機会をいただき、不安と緊張でいっぱいでしたが、国境は関係なく、受け入れてもらえ、音楽を通してみんなで楽しむことができ、貴重な経験となりました。音楽の力は人によって発揮され、人がいるからこそ、音楽は世界中の人を繋げ、みんなを笑顔にし、希望を与えるのだと感じました。今後はカーザでの経験を活かし、日本で音楽の素晴らしさをワークショップ・リーダーとして伝えていくことがとても楽しみです！



平成25年度 派遣研修生

◇「Casa da Música 研修を終えて」 伊原小百合さん

ポルトガルでの研修は、洗練されたワークショップやワークショップ・リーダーたちの技に感激し、圧倒され、そして日本での活動意欲を沸き立たせてくれる刺激的な日々でした。そして、カーザ・ダ・ムジカでの取り組みと彼らの熱意に大きな憧れを抱いて帰国しました。彼らの優れた音楽的技量だけでなく、ワークショップ・リーダーとしてのパフォーマンススキル、そして何と言っても音楽を通してそこに集まる人々との繋がりを大切に作る姿に心を打たれました。「音楽する」とは、一人ひとりと時間や空間を共有し、そこに意味のある経験をする事なのだと思います。魅力的なワークショップが日本でも数多く実現できるよう、今後も精進していきたいです。



東京文化会館オリジナル・ワークショップ
 「とびだせ!おんがくたんけん隊」
 (2014.3.13.カーザ・ダ・ムジカ スタジオ)

◇「ポルト研修で学んだこと、カーザの魅力」 野口綾子さん

ワークショップ・リーダー (WSL) 達の「音楽的スキル」「演技力」「創造力」「ホスピタリティ」の高さは目を見張るものでした。十数名のWSL達の様々なタイプのワークショップを見ましたが、各々のWSLが持つ多様な個性・専門分野が組み合わせることにより、独創的なワークショップが作り上げられていることが分かりました。題材となる音楽はクラシックから民族音楽、ポップス、コンピューター音楽まで幅広いジャンルを網羅しており、幼児から高齢者・社会的弱者まで全ての市民に向けて、音楽を通じ他者と共に喜びを分かち合う場を提供しています。建築作品としても素晴らしい施設内にはクリエイティブで開放的な空気が流れ、そこにいる人々が音楽を介して暖かく繋がり合っている姿がとても印象的でした。



ポルトガルの新聞でも
 研修の様子が報じられた
 (2014.3.15.Jornal de Noticias紙)

国際連携企画 ～カーザ・ダ・ムジカ～

ポルトガルで質の高い教育プログラムを実施し、世界から注目を集めている音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」との連携企画です。

プログラム1
 ワークショップ・リーダー育成プログラム

東京文化会館
 他

12月4日(木)～7日(日)

平成27年2月5日(木)～8日(日)

講師 ▶ ジョルジュ・ブレングス(カーザ・ダ・ムジカ エデュケーションプログラ
 ム・コーディネーター)

カーザ・ダ・ムジカ ワークショップ・リーダー 他

対象受講者 ▶ 一般/新進アーティスト

受講人数 ▶ 15～20名程度(予定)

受講料 ▶ 10,000円(予定)

プログラム2
 0歳から大人まで
 ワークショップ

東京文化会館
 東京芸術劇場
 文京シビックセンター

平成27年2月5日(木)～8日(日) (予定)

ワークショップ・リーダー ▶ カーザ・ダ・ムジカ ワークショップ・リーダー
 東京文化会館ワークショップ・リーダー
 ワークショップ・リーダー育成プログラム受講生

※東京文化会館は、2014(平成26)年6月(小ホールは5月)から同年11月まで、施設・設備の改修工事のため休館いたします。
 休館中は都内他施設にて開催する公演がございます。

《響の森》Vol.35「ニューイヤーコンサート2015」

大ホール

毎年1月3日は恒例の「ニューイヤーコンサート」。2015年の幕開けを飾り、当館音楽監督、小林研一郎の指揮で「新世界」などをお届けします。
 “炎のニューイヤーコンサート”をお楽しみください。

平成27年1月3日(土) 15:00開演 (14:20開場)

出演 ▶ 指揮：小林研一郎(東京文化会館音楽監督)
 ヴァイオリン：木嶋真優*
 管弦楽：東京都交響楽団

曲目 ▶ J.シュトラウス2世：ワルツ「春の声」 モンティ：チャルダッシュ*
 マスネ：タイスの瞑想曲* サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン*
 ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調「新世界より」 op.95



小林研一郎 木嶋真優
 ©須藤敦一

料金 S席6,200円 A席4,100円 B席2,100円 (9月2日(火)発売、友の会・都響会員先行：8月26日(火))※各種割引あり
 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 協力 東京都交響楽団
 東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒 チケット取扱 TS 都響 都響 e+ 都響

第12回東京音楽コンクール

将来の音楽界を担うアーティストの発掘と育成・支援を目的として開催する「東京音楽コンクール」。
 東京文化会館から羽ばたく新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください!

第2次予選 北とびあつつじホール

7月28日(月) 弦楽部門 7月29日(火) ピアノ部門 7月30日(水) 金管部門 7月31日(木) 声楽部門

開演 ▶ 11:00 (10:30開場)

料金 自由500円 チケット取扱 TS 都響 都響 e+ 都響

本選 東京芸術劇場コンサートホール

8月22日(金) 18:00開演 (17:30開場) 金管部門

指揮：川瀬賢太郎
 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

8月23日(土) 17:30開演 (17:00開場) 弦楽部門

指揮：梅田俊明
 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団

8月24日(日) 17:30開演 (17:00開場) 声楽部門

指揮：飯森範親
 管弦楽：東京交響楽団

8月26日(火) 17:30開演 (17:00開場) ピアノ部門

指揮：大井剛史
 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団



川瀬賢太郎 梅田俊明
 ©井村重人 ©三浦興一



飯森範親 大井剛史
 ©三浦興一

優勝者コンサート

大ホール

平成27年1月12日(月・祝) 14:00開演 (13:20開場)

出演 ▶ ソリスト：ピアノ、弦楽、金管、声楽の各部門優勝者 指揮：円光寺雅彦 管弦楽：読売日本交響楽団
 司会：朝岡 聡
 曲目 ▶ 9月下旬発表予定

料金 指定2,000円 友の会会員・シルバー(65歳以上)・ハンディキャップ1,500円 ジュニア(18歳以下)・学生1,000円
 (8月22日(金)発売) チケット取扱 TS 都響 都響 e+ 都響



円光寺雅彦 朝岡 聡
 ©三浦興一

主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 読売新聞社 / 花王株式会社 / 東京都
 協賛 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / 有馬温泉 有馬グランドホテル / 株式会社コンサートサービス / サントリーホールディングス株式会社 /
 東京ガス株式会社 / 東京地下鉄株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社 / 森平舞台機構株式会社
 東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒
 協力 新日本フィルハーモニー交響楽団 / 東京交響楽団 / 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 / 東京都交響楽団 / 東京フィルハーモニー交響楽団 /
 日本フィルハーモニー交響楽団 / 読売日本交響楽団 / 東京オーケストラ事業協同組合
 協力(第2次予選・本選)
 文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー) / 公益財団法人北区文化振興財団 / 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

1 芸術の秋、音楽さんぽ

上野公園及び近隣にある様々な文化施設などで無料コンサート「まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～」を開催します。
東京音楽コンクール入賞者を中心としたアーティスト達の若さ溢れる演奏を、コンサートホールとは一味違った趣のある空間でお楽しみください。

日時・会場	9月25日(木)	14:00～/15:00～	国立西洋美術館
	9月27日(土)	11:00～/12:20～/13:50～/15:10～	江戸東京たてももの園 子宝湯
	9月28日(日)	11:00～/12:20～/13:50～/15:10～	江戸東京たてももの園 子宝湯
	10月4日(土)	11:00～	東京国立博物館 表慶館エントランスホール
		13:00～/15:00～	国立科学博物館 日本館中央ホール
		13:00～/15:30～	旧岩崎邸庭園 洋館ベランダ 【荒天時：洋館内】
	10月5日(日)	13:00～/15:00～	恩賜上野動物園 動物園ステージ 【雨天中止】
		13:00～/15:30～	旧岩崎邸庭園 洋館ベランダ 【荒天時：洋館内】
	10月11日(土)	11:00～	東京国立博物館 表慶館エントランスホール
	10月18日(土)	13:00～/14:00～	旧吉田屋酒店 【雨天中止】
	10月19日(日)	13:00～/15:00～	国立国会図書館 国際子ども図書館 3階ホール
	11月1日(土)	14:00～/15:00～	東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ
	11月2日(日)	14:00～/15:00～	東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ

出演▶東京音楽コンクール入賞者等を中心とする新進演奏家によるアンサンブル

料金 入場無料(施設への入館料等が別途必要な場合があります)
主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共催 公益財団法人東京都公園協会(旧岩崎邸庭園公演)
国立国会図書館国際子ども図書館

2 まちなかスペシャルVol.1 ヨーロッパ音楽旅行

東京音楽コンクールの入賞者を中心としたアンサンブルによる「音楽の旅」をお楽しみください。

小ホール

平成27年1月17日(土) 14:00開演(13:30開場)

出演▶ナビゲーター：辰巳琢郎
ヴァイオリン：井上静香 *第6回弦楽部門第2位及び聴衆賞
ヴァイオリン：猶井悠樹
ヴィオラ：青木篤子 *第2回弦楽部門第1位
チェロ：富岡廉太郎
フルート：上野由恵 *第2回木管部門第1位
オーボエ：本多啓佑
クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン *第11回木管部門第1位及び聴衆賞
ファゴット：黒木綾子
ホルン：氏家 亮 *第10回金管部門第3位及び聴衆賞
テノール：宮里直樹 *第10回声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞
ピアノ：日下知奈 *第3回ピアノ部門第3位 他



料金 自由1,000円(8月22日(金)発売)
主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団) チケット取扱 TS 国 国 e+ 国

3 まちなかスペシャルVol.2：よりみちコンサート ピアノで奏でる 愛のうた～バレンタインによせて～

お仕事帰りにちょっとよりみち ワンコインでクラシック入門 バレンタイン・イブに2人の女性ピアニストによる愛のうたをお届けします。

小ホール

平成27年2月13日(金) 19:00～20:00(18:30開場)

出演▶ピアノ：泊 真美子 *第1回ピアノ部門第3位
岡本麻子 *第2回ピアノ部門第1位
曲目▶リスト：愛の夢 第3番
ラヴェル：ラ・ヴァルス 他



料金 自由500円(8月22日(金)発売)
主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱 TS 国 国 e+ 国

モーニングコンサート

小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクール入賞者による朝の1時間コンサート。若きアーティストの演奏とお話をお楽しみください。

Vol.80 12月12日(金)

出演▶ピアノ：黒岩航紀
*第11回ピアノ部門第1位及び聴衆賞
曲目▶ショパン：幻想ポロネーズ 変イ長調 op.61
ガーシュウィン：ラブノディインブルー 他



黒岩航紀

Vol.81 平成27年1月14日(水)

出演▶ヴァイオリン：篠原悠那 *第11回弦楽部門第2位
ピアノ：河地恵理子
曲目▶ラヴェル：ツイガース
ワグスマン：カルメン幻想曲 他



篠原悠那

Vol.82 平成27年2月18日(水)

出演▶フルート：多久和怜子 *第11回木管部門第2位
ピアノ：石橋尚子
曲目▶モーツァルト：ロンドニ長調 Anh.184
林光：フルートソナタ 他



多久和怜子

Vol.83 平成27年3月3日(火)

出演▶ソプラノ：嘉目真木子 *第10回声楽部門第2位(最高位)
ピアノ：武田朋子
曲目▶シャルパンティエ：オペラ「ルイズ」より「その日から」
ブッチェニ：オペラ「ジャンニスキッキ」より
「私のお父さん」 他



嘉目真木子

時間▶11:00～12:00(10:30開場)

料金 自由500円(8月22日(金)発売)
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協賛 上野中央通り商店会 東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒 チケット取扱 TS 国 国 e+ 国

創遊・楽落らいぶ
一音楽家と落語家のコラボレーション

500円で音楽と落語を楽しめるお得な1時間コンサート。12月には「笑点」でおなじみ、人気落語家・春風亭昇太が登場します。

Vol.28 12月18日(木)

小ホール

出演▶落語：春風亭昇太
ヴァイオリン：加藤玲名
作編曲：内田英介 他
内容▶第1部：ミニコンサート
第2部：落語と音楽のコラボレーション



春風亭昇太 加藤玲名 内田英介

Vol.29 平成27年2月(予定)

時間▶11:00～12:00(10:30開場)

料金 自由500円(Vol.28 8月22日(金)発売、Vol.29 12月18日(木)発売)
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/
公益社団法人落語芸術協会
共催 日本音楽家ユニオン/
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]
東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒
チケット取扱 TS 国 国 (Vol.28のみ) e+ 国

バックステージツアー

大ホール

普段目にするのできない舞台裏、舞台機構、アーティストたちが舞台袖の柱や壁に残したサインや記念パネルの数々の見学、照明操作体験、楽屋エリア見学など、見どころいっぱいのツアーです。

平成27年1月14日(水) 15:00開始/19:00開始
3月17日(火) 10:30開始/14:00開始



対象・定員▶中学生以上、各回60名程度

料金 参加費(保険料含む)500円(12月6日(土)発売)
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒
チケット取扱 TS 国 国

ティータムコンサート

大ホール
ホワイエ

昼下がりのひととき、大ホールホワイエで行う東京都交響楽団メンバーによる無料コンサートをお楽しみください。

12月以降2回開催予定

時間▶13:00～13:40(12:30開場)



料金 入場無料
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/
公益財団法人東京都交響楽団

チケットはこちら

- TS 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>
- 国 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 <http://www.geigeki.jp/t/>
- 都 都警ガイド 03-3822-0727 <http://www.tmsa.or.jp/>
- 国 チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
- e+ イープラス <http://eplus.jp/t-bunka/>
- 国 ローションチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/>
- 国 たましんRISURUホール 042-526-1311
- 国 オリジナルホール八王子(窓口のみ)
- 国 北とびあ1階チケット売場(窓口のみ)

※都合により内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※料金は税込みです。
※東京文化会館チケットサービスは6月から11月まで改修工事休館中のため、窓口の販売はございません。電話・インターネットのみ受付。
※東京芸術劇場ボックスオフィスでは窓口販売もございません。

■お問合せ
東京文化会館事業企画課 03-3828-2116(代表)
www.t-bunka.jp Twitter@tbunka_official

木之下晃の語る
レンズは語る

クラウディオ・アバド
～次世代を見据えた名匠

写真・文 木之下晃



クラウディオ・アバド 1973年3月20日 ウィーンフィル来日公演 東京文化会館

©Akira KINOSHITA

名匠クラウディオ・アバドが1月20日
ボローニャの自宅で逝去。享年80だっ
た。

彼は2000年夏に胃癌のため胃を全摘
手術して、地中海のサルデーニャ島で
療養。音楽への情熱が見事に病を克服
して復活をはたした。

とは云え、もともと瘦躯なので、頬
がげっそりとこけた姿は痛々しなかつ
た。

今回はアバドが初来日以来、東京文
化会館に残した足跡を辿っておきたい
と思う。

私が彼に初めてカメラを向けたのは
1973年3月20日で、ウィーン・フィルと
初来日した時の初コンサートで、ブラ
ームスの交響曲第3番とベートーヴェン
の第3番『英雄』を指揮した。彼は丁度
40歳で未だ若く、バックステージでは
ウィーン・フィルの猛者たちに囲まれ、
ちょっとはにかんだシャイな様子が
印象的だった。その初来日から来日
の都度、カメラを向け続け、優に写真

集一冊分以上のフィルムが手元に残っ
た。

81年にはスカラ座初の引越し公演
を率いて『シモン・ボッカネグラ』の
ピットに入った。この時の舞台は、実
物大の帆船を直接スカラ座から運び込
んで、約12mの巨大な柱が4本組み立
てられた日本オペラ史上最大の大道具が
今も記憶に残る。リハーサルでのアバ
ドはカラヤンのようにセーターを肩に
かけて、にこやかに棒を振っていた。
この来日ではヴェルディの『レクイエ
ム』も指揮した。彼は、イタリア・オ
ペラの巨匠ながら、プッチーニには手
を染めなかった。

83年はロンドン交響楽団と来日。こ
の頃の彼はサインを求める長蛇の列の
ファンに微笑を浮かべながら一人ひとり
懇切丁寧に対応。その優しさが滲み出
る人柄は音楽にも出ていた。

89年と94年にはウィーン国立歌劇場
と来日。89年の公演でのモンセラ・カ
バリエを中心とした豪華な顔ぶれによ

る『ランスへの旅』はシャレたセンス
が際立つ名演奏であった。

2000年11月には病が完全に癒えない状
況で、ベルリン・フィルと来日し、ザ
ルツブルク・イースター音楽祭引越し
公演の『トリスタンとイゾルデ』の
ピットに入った。渾身のエネルギーを
込めた演奏は凄絶で、神がかっていた。
この時、マリス・ヤンソンスが若
しやと云う時のために同行していたの
である。この公演では『田園』なども
演奏。それが東京文化会館での最後と
なった。

アバドは常に“革新的”であることに主
眼を置き、シェーンベルクやベルクな
どを積極的に採り上げていた。また平
和主義者でイラク戦争に嫌疑の念を表
明。イタリアの政治家が文化への認識
が低いと痛烈に批判していた。彼の最
大の功績は、若い音楽家を育てるプロ
ジェクトを幾つも立ち上げ、それに献
身的な努力を重ねたことにあると思
う。

都響ニュース Vol.32

東京交響楽団

次期音楽監督 (2015年4月より就任) : 大野和士
終身名誉指揮者 : 小泉和裕
桂冠指揮者 : エリアフ・インバル
首席客演指揮者 : ヤクブ・フルチャ

2014年楽季まもなく後期シーズン開幕

音脈読者のみなさま、いかがお過ごしでしょうか?

東京都交響楽団2014年度楽季定期演奏会 (東京文化会館/東
京芸術劇場コンサートホール) のおすすめラインナップをご紹介
いたします。

9月は小泉和裕のブルックナー交響曲2番をメインに据え、薫り高
いオーストリア・プログラムが秋の一夜を彩ります。11月は、鬼才
マーティン・ブラビンスのプリティッシュ・プログラム。ヴォーン・ウィ
リアムズの《ノーフォーク狂詩曲第2番》(日本初演) は英国音楽
ファンならずとも注目必至です。そして、巨匠クリストファー・ホグ
ウッドと都響の新鮮な音楽づくりにもご期待ください。12月は、
次期音楽監督、大野和士による珠玉のプログラムです。バルト
ークの名作「弦チエレ」と、シュミットの代表作「第4交響曲」を熱く
お届けいたします。都響ならではの多彩なプログラムをどうぞご
期待ください。

リアマズの《ノーフォーク狂詩曲第2番》(日本初演) は英国音楽
ファンならずとも注目必至です。そして、巨匠クリストファー・ホグ
ウッドと都響の新鮮な音楽づくりにもご期待ください。12月は、
次期音楽監督、大野和士による珠玉のプログラムです。バルト
ークの名作「弦チエレ」と、シュミットの代表作「第4交響曲」を熱く
お届けいたします。都響ならではの多彩なプログラムをどうぞご
期待ください。

定期演奏会Aシリーズ(9月~12月公演) 各回19時開演 東京文化会館/東京芸術劇場コンサートホール
(東京文化会館工事休館のため、第775回・第777回・第779回は東京芸術劇場コンサートホールで開催いたします)

東京芸術劇場コンサートホール(池袋)

第775回 9月19日(金) 発売中

指揮/小泉和裕
ヴァイオリン/鈴木 学(ソロ首席奏者)
エロド: ヴィオラ協奏曲 op.30
ブルックナー: 交響曲第2番 ハ短調
(ノヴァーク: 1877)



第779回 11月21日(金) 一回券 7月15日(火) 発売

指揮/クリストファー・ホグウッド
コーブランド: アバラチアの春-13 楽器のためのパレエ
R. シュトラウス: 13 管楽器のためのセレナード
変ホ長調 op.7
メンデルスゾーン: 交響曲第5番 ニ短調 op.107
《宗教改革》
(ホグウッド校訂版)



第777回 11月4日(火) 一回券 7月15日(火) 発売

指揮/マーティン・ブラビンス
ヴァイオリン/クロエ・ハンスリップ
ヴォーン・ウィリアムズ: ノーフォーク狂詩曲
第2番 ニ短調
(ホッガー補完版)*
ディーリアス: ヴァイオリン協奏曲
ウォルトン: 交響曲第1番 変ロ短調
*日本初演



東京文化会館(上野)

第780回 12月8日(月) 一回券 9月2日(火) 発売

指揮/大野和士
バルトーク: 弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽
Sz.106
フランツ・シュミット: 交響曲第4番 ハ長調



TICKET		S席	A席	B席	C席	Ex席
東京芸術劇場コンサートホール	第775回・第777回・第779回	6,500	5,500	4,500	3,500	2,000
東京文化会館	第780回	7,500	6,500	5,500	4,500	2,200

・シルバーエイジ(65歳以上): A~C席 30%OFF ・ジュニア(18歳未満)/学生: A~C席 50%OFF

2014年楽季コンサートスケジュール、楽団紹介をお配りいたしております。ぜひご覧ください。

都響スペシャル「第九」発売情報

12月25日(木) 19時開演 東京文化会館(上野)

指揮/小泉和裕
ソプラノ/リー・シェーイン アルト/中島郁子 テノール/オリヴァー・クック
バリトン/青山貴 合唱/二期会合唱団
ベートーヴェン: 交響曲第9番 ニ短調 op.125《合唱付》

一回券: S: 8,000円 A: 7,000円 B: 6,000円 C: 5,000円 Ex: 2,200円

※12/24(水)東京芸術劇場、12/26(金)サントリーホール公演も同プログラムでございます。

小泉和裕
©堀田力丸



ご予約と
お問合せ

【都響ガイド】03-3822-0727 <http://www.tmsu.or.jp>(ホームページからも予約できます)
[仮事務所]〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-21-7住友不動産池袋西口ビル9階 月~金 10時~18時/土日祝休み
※東京文化会館改修工事に伴い、都響ガイドは2014年5月20日~12月初旬にかけて仮事務所にて営業いたします。

会館からのお知らせ

平成26年度の 改修工事休館について

東京文化会館は、平成26年度において、施設・設備の改修工事のため約半年間休館いたします。館内の各施設の休業期間及び改修工事の内容は、右記を予定しておりますので、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【館内の各施設の休業期間】(全館の休館期間は、6月1日～11月30日)
 ○大ホール 6月1日から11月30日まで
 ○小ホール 5月1日から12月11日まで
 ○会議室 5月12日から12月15日まで 12月16日以降未定(調整中)
 ○リハーサル室 6月1日から11月30日まで 12月1日以降未定(調整中)
 ○音楽資料室 5月12日から12月15日まで 12月16日以降未定(調整中)
【改修工事の主な内容】
 ○大小ホール・ホワイエの天井その他建築改修
 ○舞台照明・音響・装置の更新・改修
 ○空調・給排水・電気設備等の更新・改修

東京文化会館 友の会 Club Wa-Wa のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援して下さる舞台芸術ファンのためのクラブ、Club Wa-Wa(わあわわ)。Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味します。東京文化会館は、昭和36(1961)年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として半世紀にわたる歴史を刻んできました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、Club Wa-Waの皆様に支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと願っております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。



お問合せ：東京文化会館友の会Club Wa-Wa 事務局 電話：03-3828-1696(平日9:00～17:00、土日祝休み)

会員プラン

※平成26年4月1日の消費税率の改正に伴い年会費を改定いたしました。

①ベーシックプラン 年会費 ¥2,160 (¥2,000+消費税8%)
 メールマガ、ホームページを活用して、よりスピーディーに情報をお届けするプラン。

②クラシックプラン 年会費 ¥2,700 (¥2,500+消費税8%)
 毎月1回、会報誌Letter Wa-Waをご郵送するプラン。

申込プラン	入会金	年会費	メールマガジン	会報誌の郵送	チケットオンライン購入
友の会 ベーシックプラン	無料	2,160円	●		●
友の会 クラシックプラン	無料	2,700円	*	●	●
メールマガジン		無料	●		

*別途メールマガジンにご登録いただけます。

特典 (ベーシックプラン、クラシックプラン共通)

最新の友の会特典情報は、当館ホームページからご覧いただけます。
 ①当館指定公演のチケット割引販売・②先行販売・③招待、④館内レストラン・ショップ・⑤ヤマハ銀座店5%割引(一部対象外)、⑥「音脈」郵送、⑦東京都歴史文化財団が運営する施設の入館料等の割引、⑧アトレ上野・⑨エキュート上野の対象店舗での各種サービス

■ご入会について

チケットサービスあるいはホームページにてお手続きいただくか、友の会事務局まで入会申込書をご請求ください。

■お問合せ・チケットお申込み

お問合せ 東京文化会館友の会 Club Wa-Wa 事務局
 電話：03-3828-1696(平日9:00～17:00、土日祝休み)
 お申込み 東京文化会館チケットサービス
 電話：03-5685-0650(休館日を除く10:00～19:00)

Restaurant Forestier

レストラン フォレストイヤー 精養軒



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



TEL 03-3821-9151

(東京文化会館 2階)

http://www.seiyoken.co.jp

日本最古の温泉地に、クラシック界期待のアーティスト！

Special concert

日本三名泉の
ひとつ
有馬で憩う



ピアニスト
日下 知奈 China Kusaka
“七夕”クラシックミニコンサート
7/7(月)・8(火) ご予約のお客様
無料

◆Time 1部 20:30～/2部 21:30～
◆Place 有馬グランドホテル1階ラウンジ「ルシェット」

Profile
兵庫県出身
2005年 第3回東京音楽コンクール ピアノ部門第3位

心地よい奏と
避暑の
ひととき。

有馬グランドホテル

http://www.arima-gh.jp/

神戸中心部から好アクセス！
新神戸駅から車、電車で約30分

tel. 078-903-5489 兵庫県神戸市北区有馬町 1304-1

2014年 9月～
クラシックミニコンサート
開催スケジュール

9/8(月)・9(火)
ソプラノ 松岡 万希

12/24(水)・25(木)
ピアニスト 水谷 桃子

※詳しくはお問い合わせください。